

北齊
兩譜中編

全

167

尾張東壁堂藏板画譜畫手本目錄

北齋漫画	狂画苑	北齋画譜
北溪漫画	文鳳簾画	同 中編
北雲漫画	蕙齋鹿画	同 下編
琉琳漫画	神事行燈	富嶽百景
金氏画譜	北齋女今川	同 二編
一筆画譜	初學繪手本	同 三編
英勇画譜	福善齋画譜	繪本 庭訓
浮世画譜	武勇魁圖繪	同 中編
英泉画譜	浮世画手本	同 下編

大うてハ山岳江海小うても
鳥雀蟲魚こゝろあひし人物を画うても
花がくくも寂妙を具画得る者少し
畫乃道も心廣みの如し北齋翁前年
府下へ遊むしと此二文依り遠唐師の
像を画ふより其大を祇ハ一尺寸人を画を
圖して其細をを致し人皆歎賞を致す

云々何々ふわ予箱乃畫譜上題をさす
 已小三度先上云々如く箱と大をさす者
 なく又其細をさすもの如くんかき其
 端も次すり巻にきく世に飛ぶ
 爲なり今あほたる者あんなにいふ
 いふく出さず以共く妙也と其箱の
 畫圖南無屋起り

展府下 申林子識















山さん晚ばん水すい寒かんれ





ホーウひに
鉦花
交魚

















不動明王

中
雪
七
曙





鐘
通





白太夫



石竹

蜂

煎茶早指南

尾礫舎主人著
月樵老人圖画

全一冊

此書ハ煎茶の極意を初め、さなり煎茶を初め、さなり道具揃へたり
や、中々、ふたふた、道具ハ有合のふて、心安く調へ客来ひても不
う、か、さ、福、ユ、風と、終、就中煎茶の水加減ハ朝夕小用ゆふ天小益
り、番茶の煎、此煎法を以て増減を、時、百茶も、裏、て、森、撰、一、森
齋、の、山、の、高、味、を、る、尺、賣、ハ、卷、中、小、委、一、く、見、え、る、り

俳諧五七集

枇杷園士朗翁著

全五冊

士朗先生俳諧の書数篇の中三十五部をひて五七集と号け先生一世の
俳諧風雅を尽され、此書あり芭蕉翁のひの二大家、て風調意味
深く此道小遊ふ輩の龜鑑とるべし

書肆

尾州名古屋本町通七丁目 永樂屋東四郎
江戸日本橋通本銀町三丁目 同 出店

